

看護職員確保・定着に取り組んで
WLBをみんなのものにするために

緑町三祐病院
総看護師長 山時久美子

病院概要

- 一般病棟 26床 (10 : 1)
平均在院日数 20日
病床稼働率 89, 2%
- 療養病棟 60床 (20 : 1)
平均在院日数 112日
病床稼働率 94, 6%
- 有料老人ホーム 61室

平成26年7月



看護職員紹介

- 看護職員数 48名
(看護師 29名 准看護師 19名)
常勤 32名

時間短縮正規職員 9名

平均年齢34.3歳

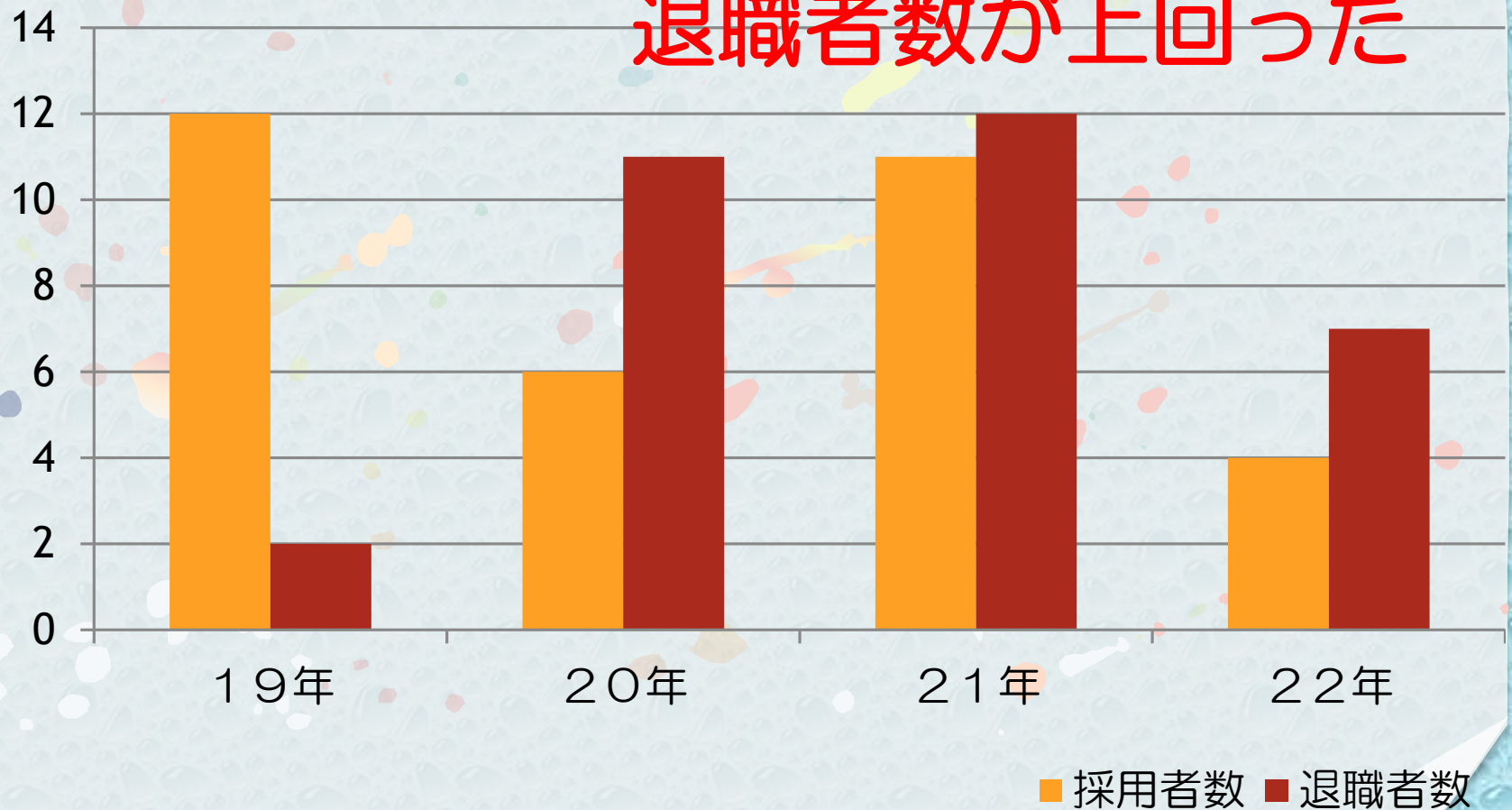
一般病棟3名 療養病棟3名 その他3名

- パート・学生 6名
- 平均年齢 36.9歳
- 育児休暇 2名・・・復帰後は時短利用
- 看護補助者 24名

平成26年7月現在

採用・退職者数

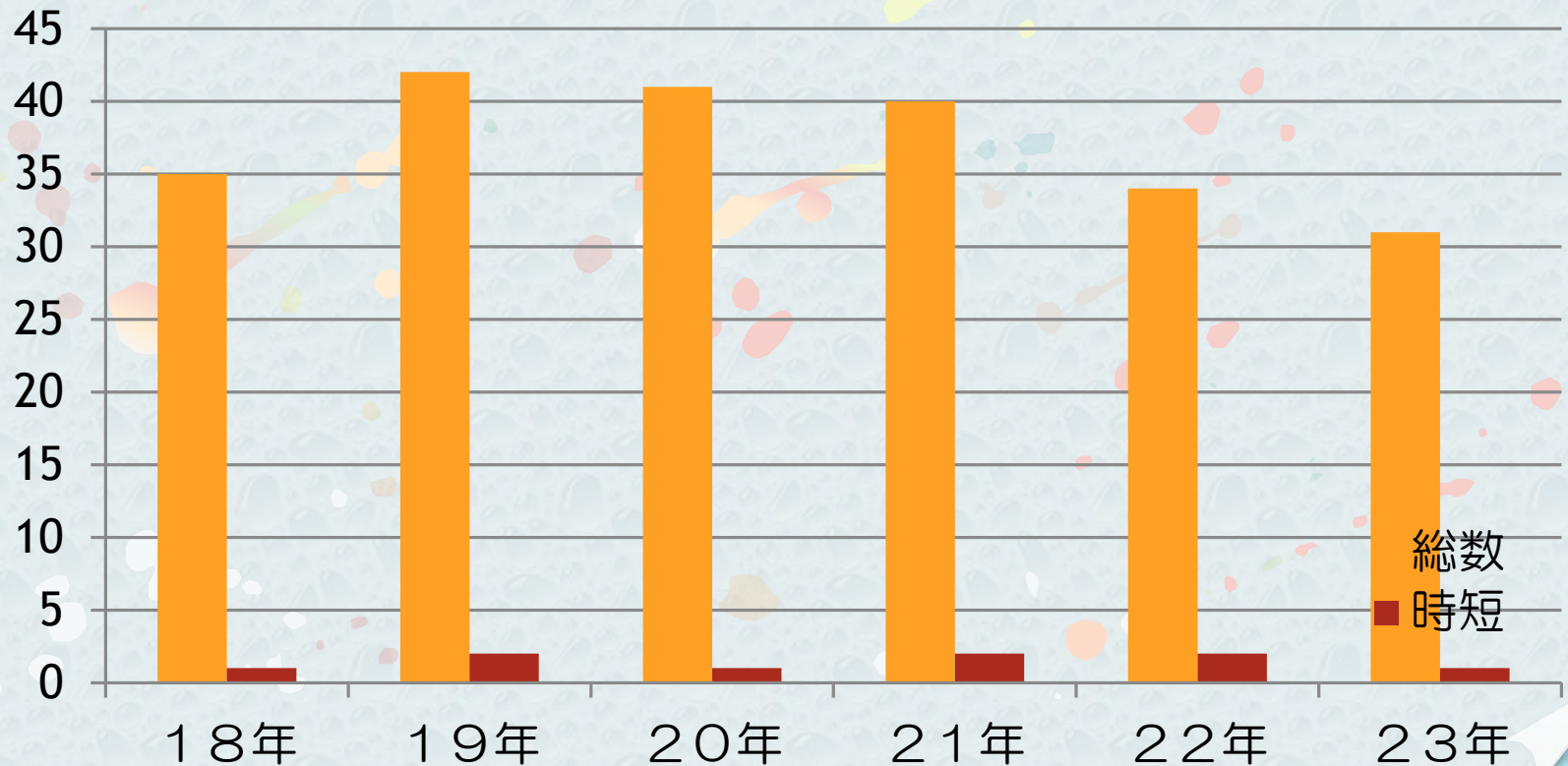
3年連続
退職者数が上回った



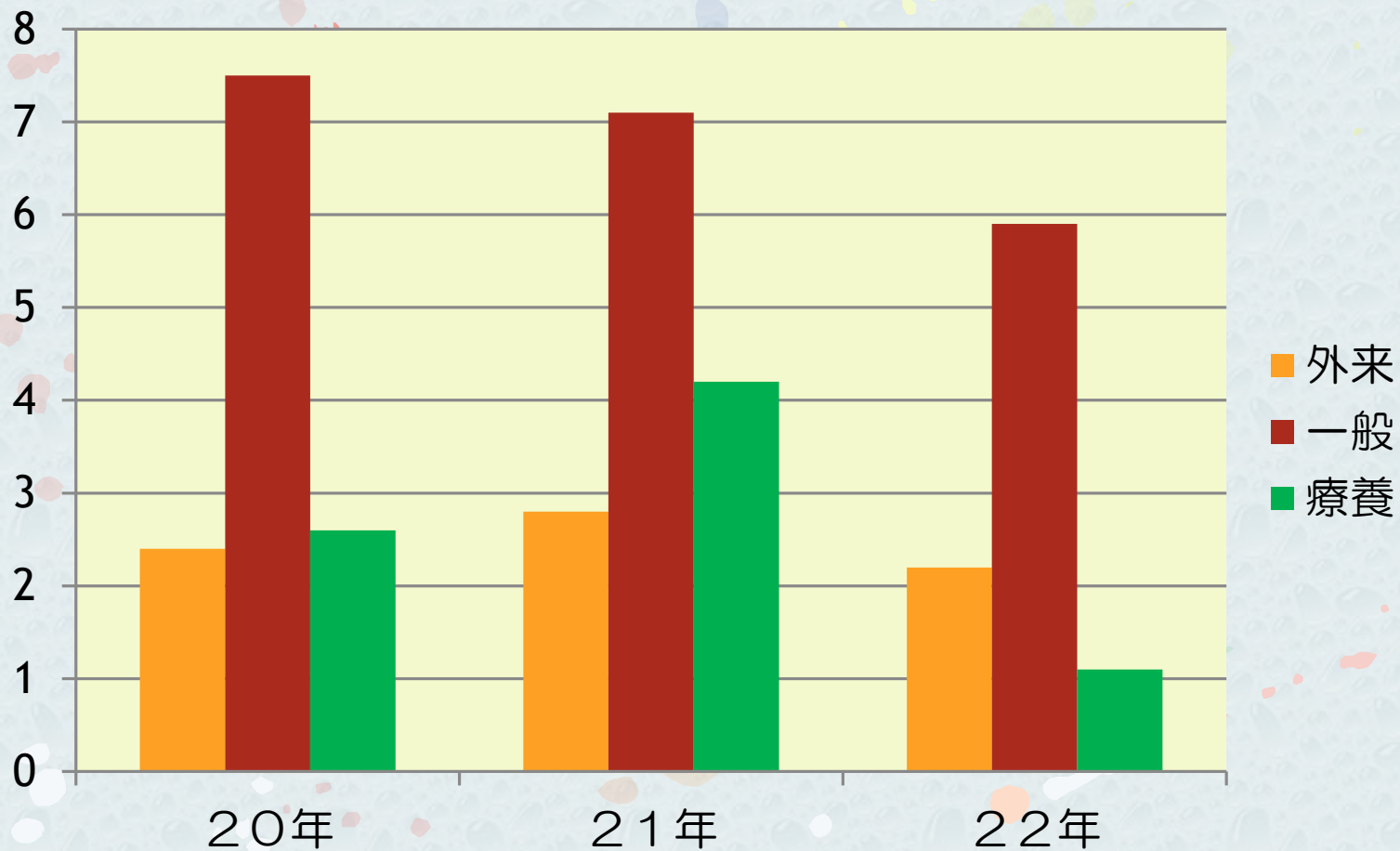
退職理由

- 人間関係（スタッフ間・医師）
- 他の病院への就職を希望
- 看護師国家試験の勉強のため
- 思っていた職場とのイメージが違う
- 予想以上に忙しかった
- 家族の病気
- 子育てとの両立が難しい
- 職場の移動に不服があった
- 休憩が十分に取れない：疲労感が強い

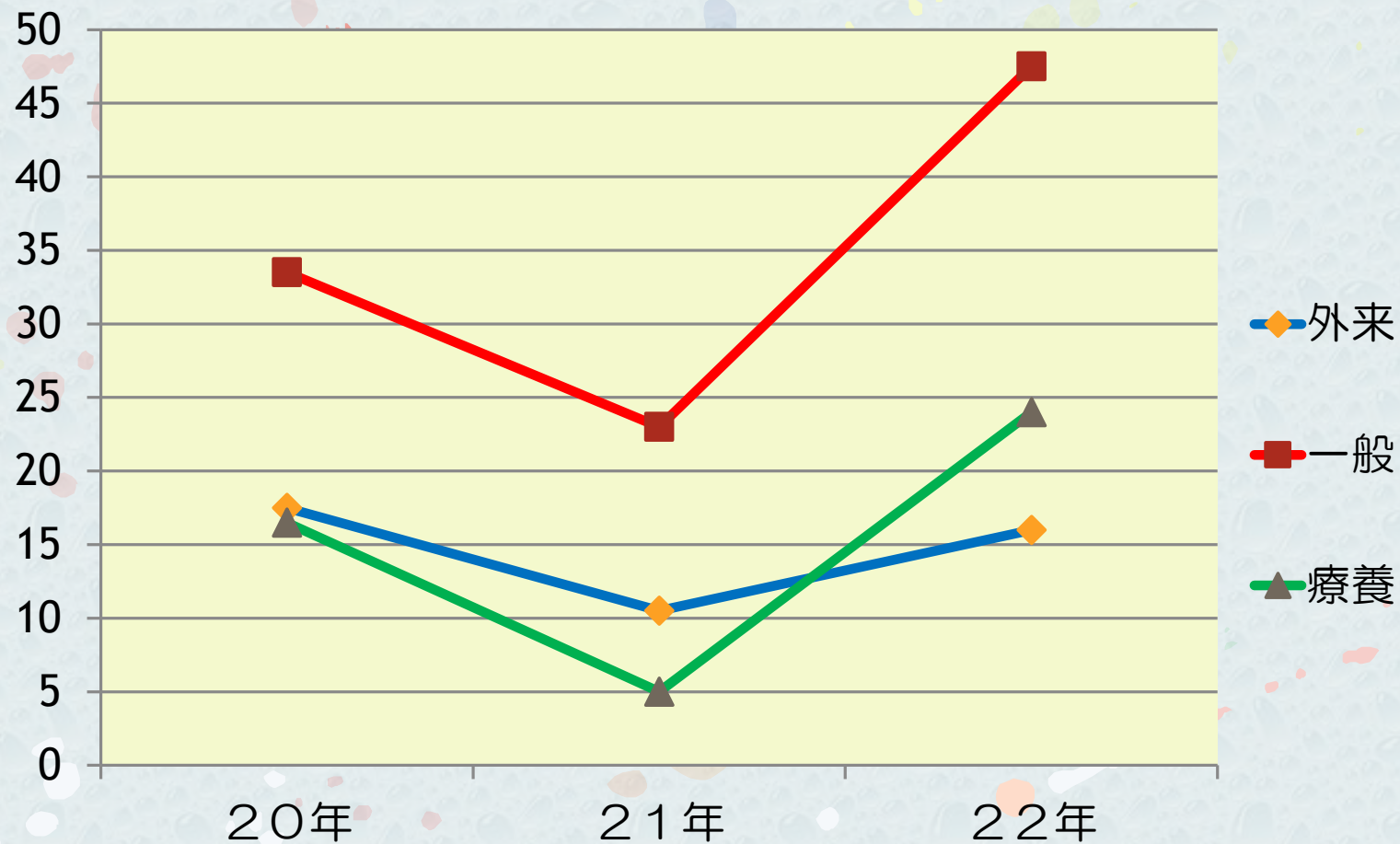
看護職員が減っていく危機 時短制度利用者も伸びない状況



時間外勤務時間（平均）



時間外勤務時間（最大/月）



時間外勤務の理由

- 医師が指示を出す時間が遅い
- 夕方の急な入院
- 予定以外の緊急の入院が多い
- 看護記録の時間が取れなかった
- 急に欠員が出たため
- 処置時間が延長した
- OPの開始が遅いため

負のサイクル

マンパワー不足

忙しい

一人一人の負担が大きい

時間内に仕事が終わらない

休憩がなかなか取れない

定時に帰れない

時短だが帰りづらい

連休が取りづらい

勉強をする余裕がない

研修があても参加できない

モチベーションが上がらない

忙しくて事故を起こすかも

休日が仕事

人間関係がぎくしゃく

やりがいを持ってない

退職

看護職員が増えないと、
今いる看護職員もやめてしまうかも

職員減少の危機を何とか
しなくてはいけない！！！！

看護職員の獲得
目標50人

看護職員獲得のための作戦

他職種との協力

- 医師に指示を出す時間を守ってもらう
- 看護補助者の協力

時間短縮制度

- 働く時間を選べる
- 新規の採用者も利用可能に

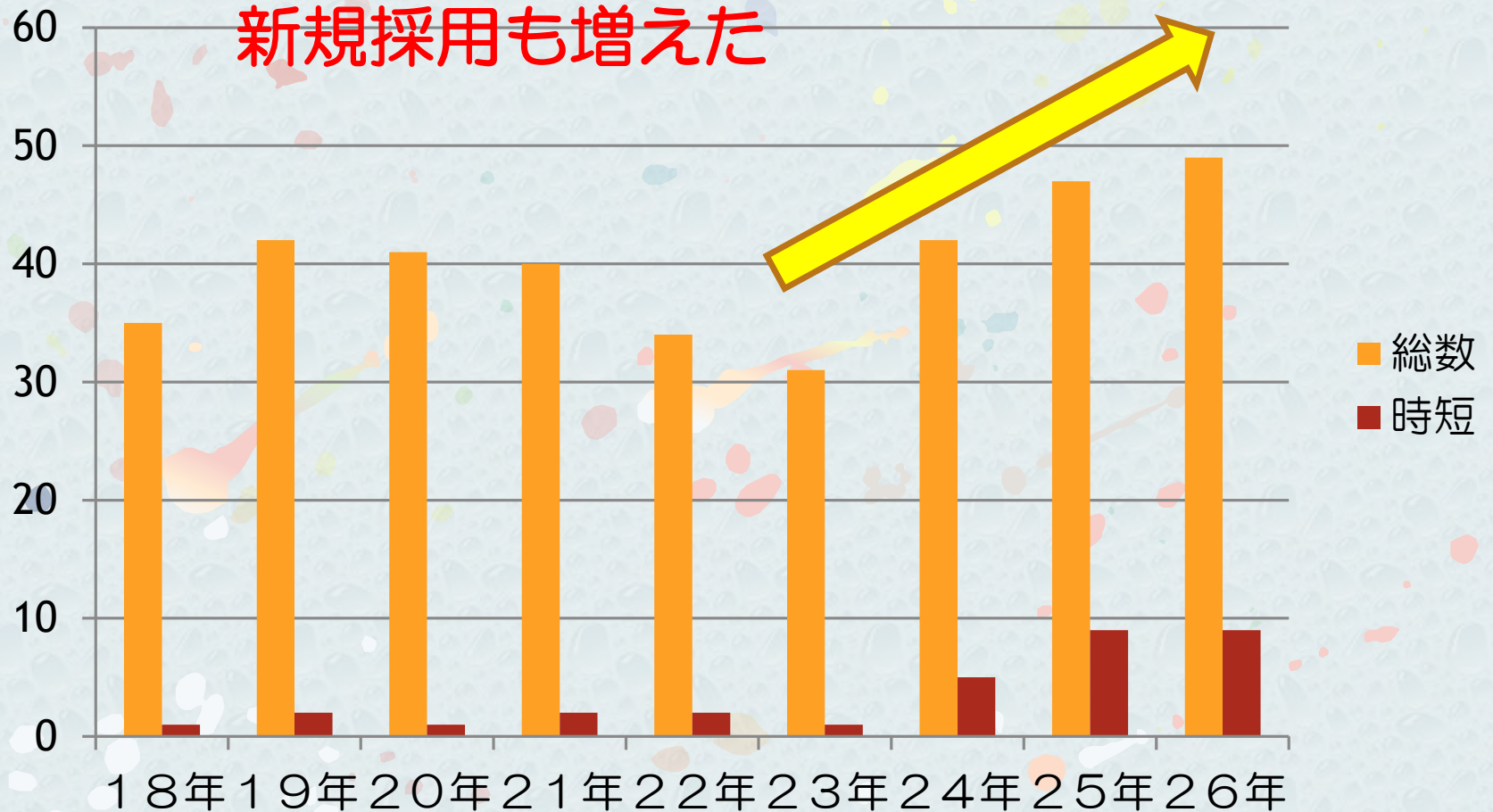
確保活動

- HPの立ち上げ
- 就職説明会参加
- 学校訪問
- 有料紹介会社への登録

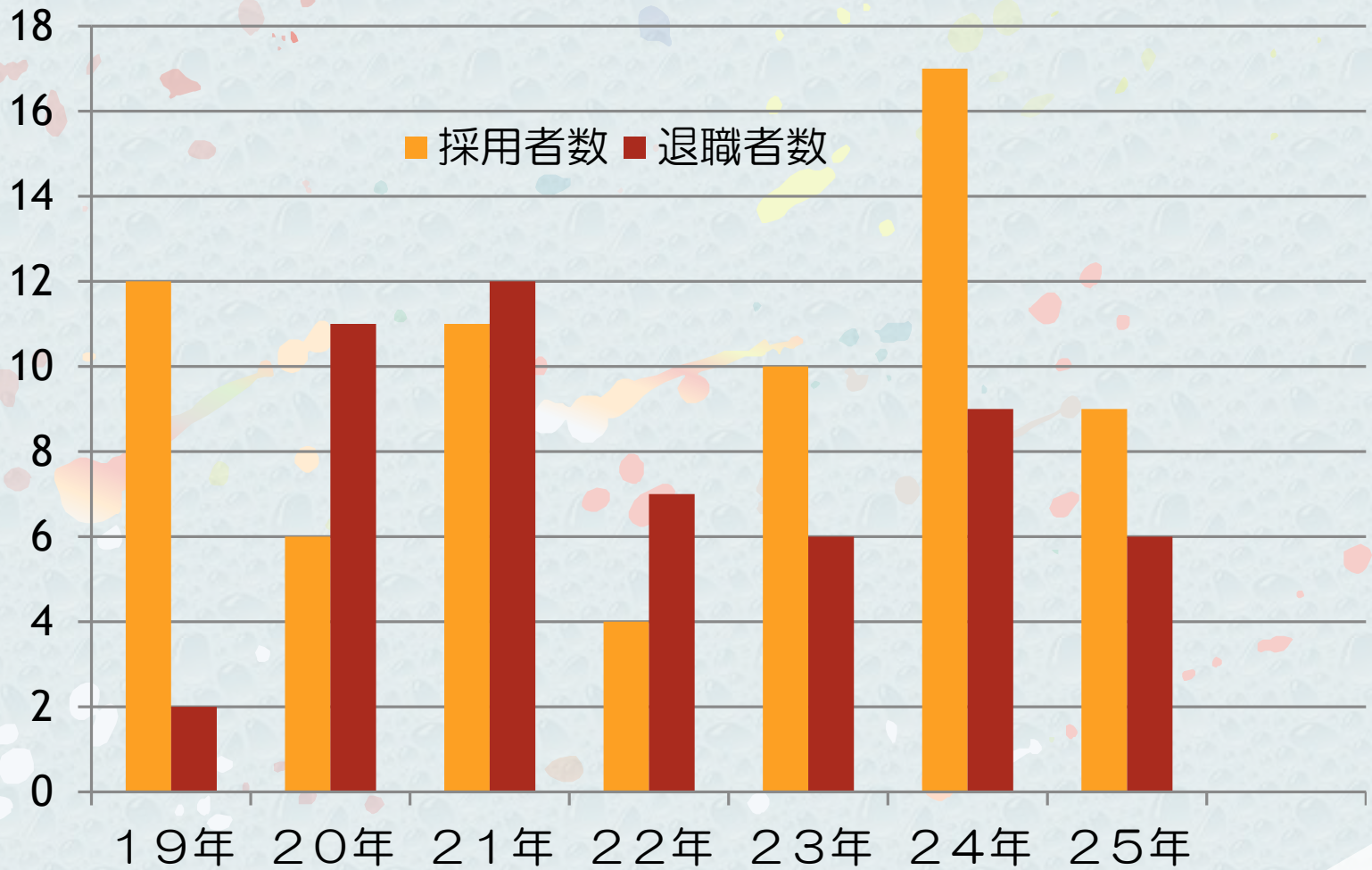
経済的支援

- 就職準備金
- 保育料一部負担

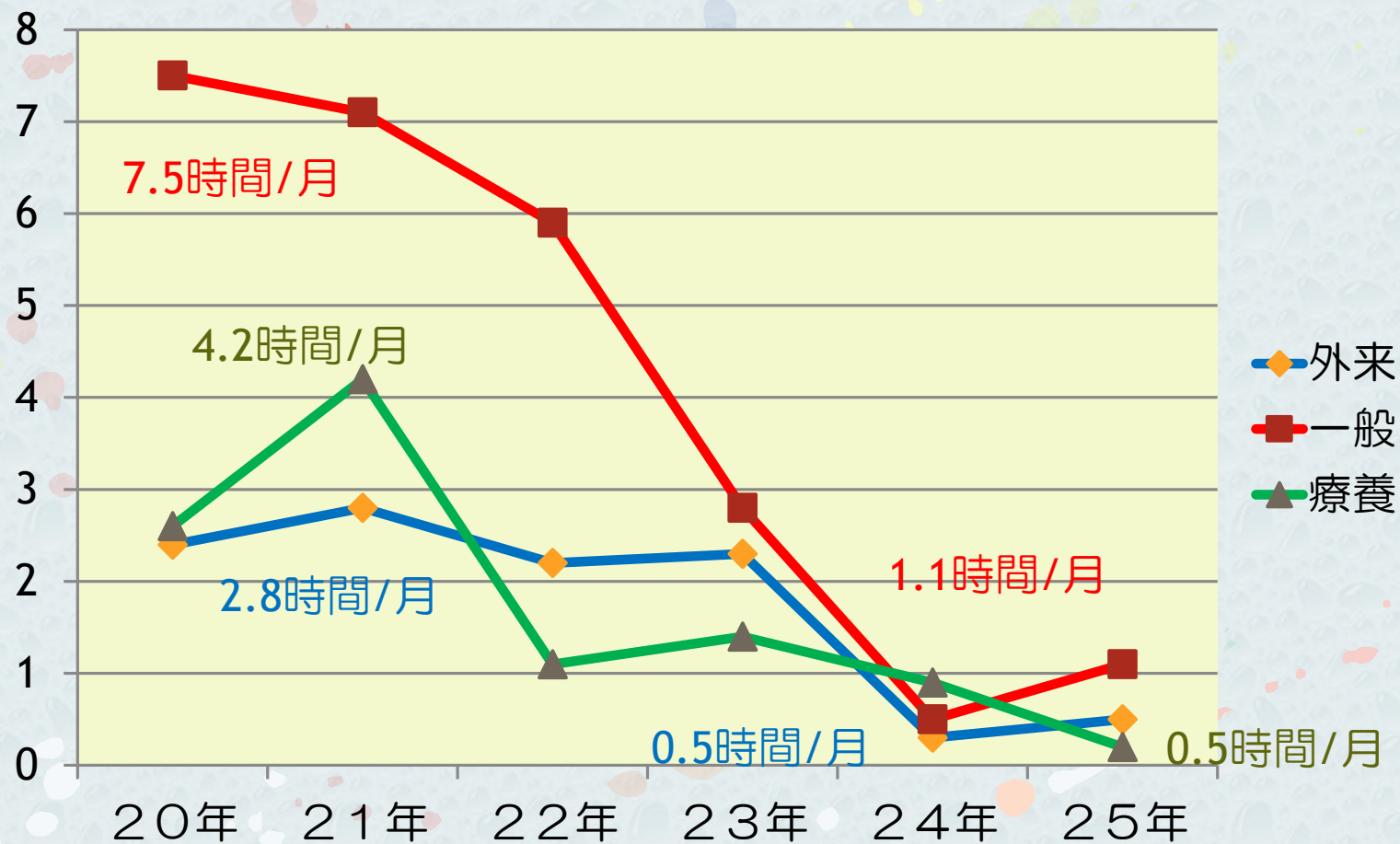
徐々に職員が増えた
時間短縮制度を利用する職員の
新規採用も増えた



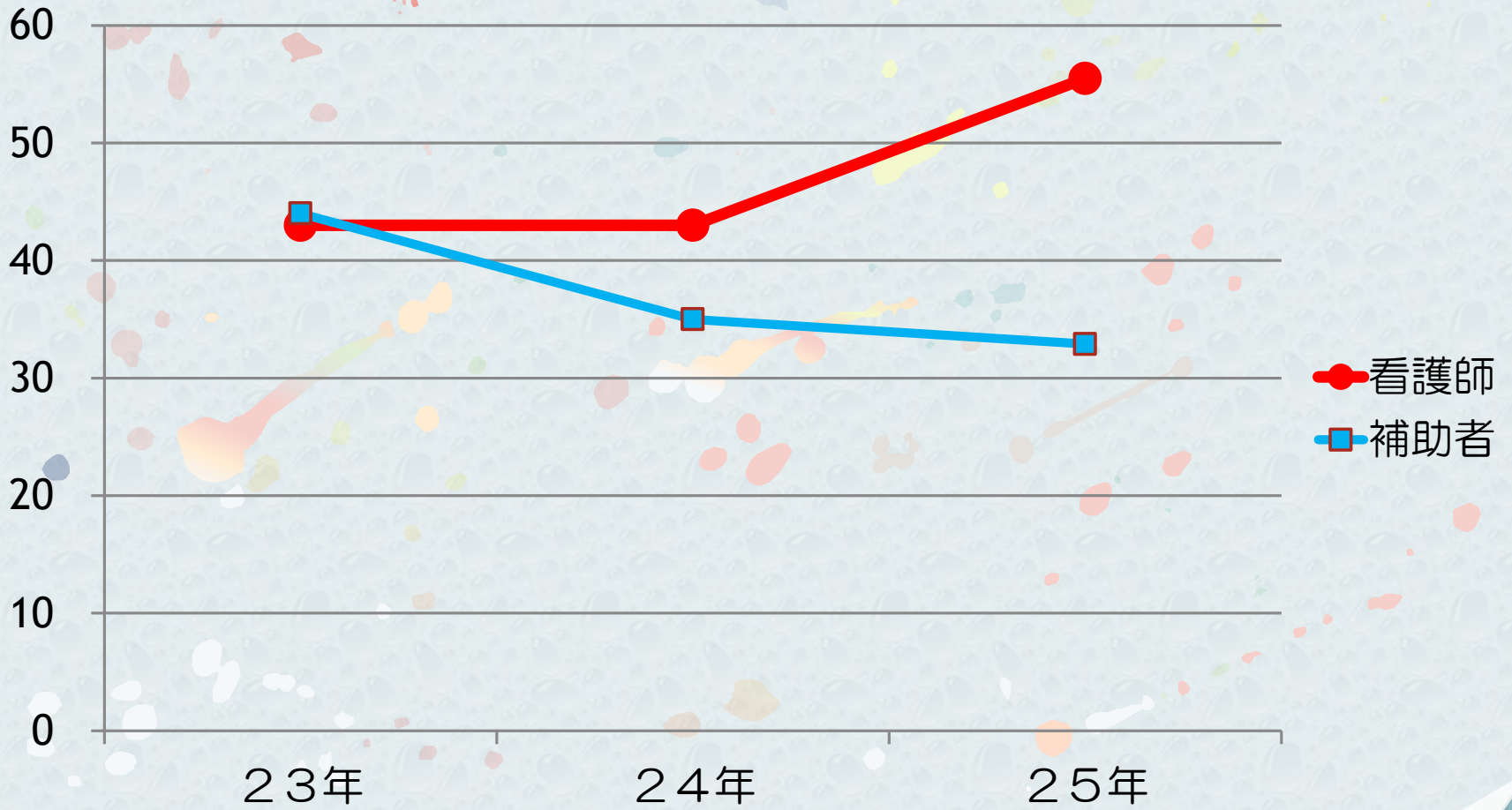
採用・退職者数



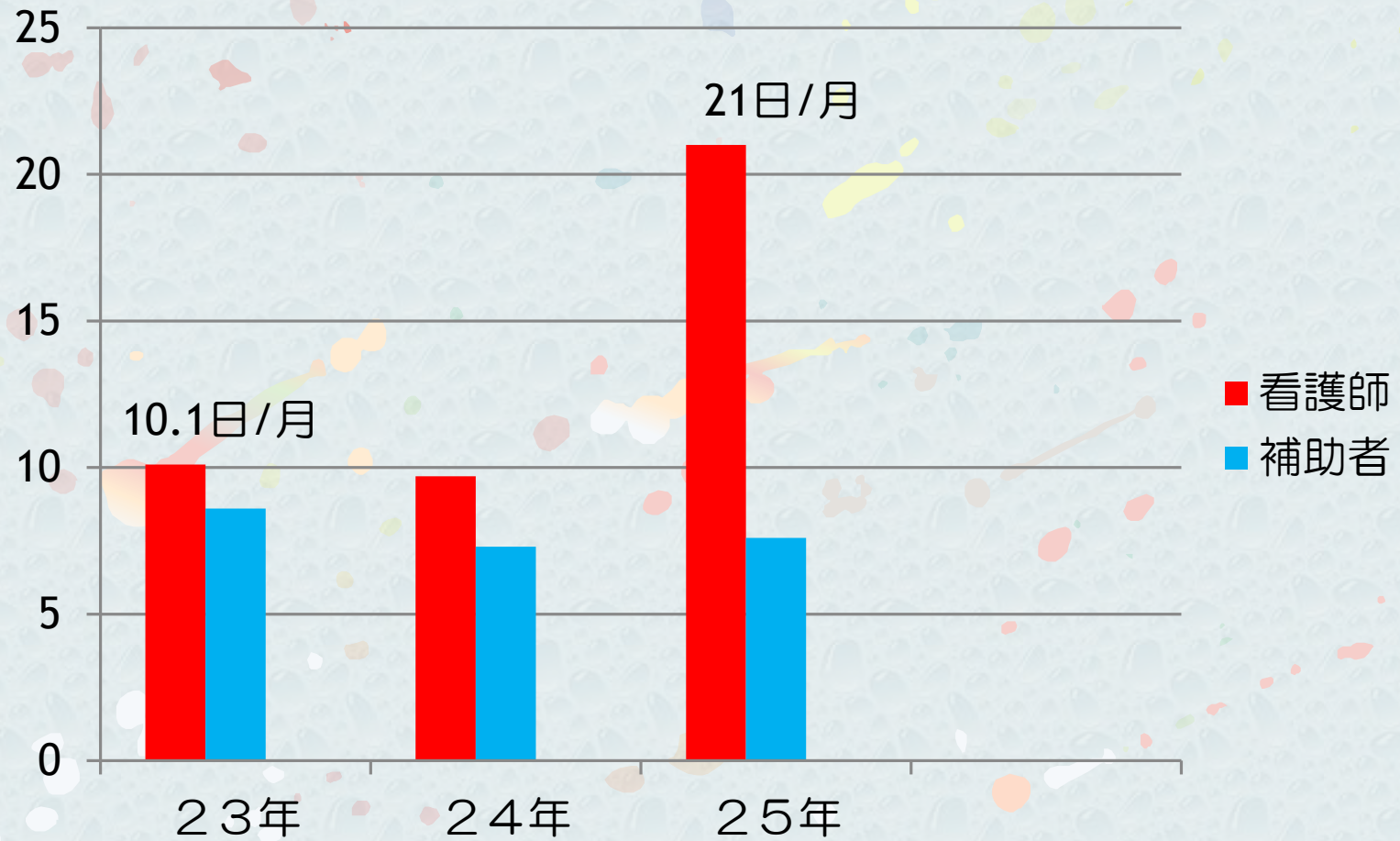
時間外勤務時間（平均）



年次休暇取得率



年次休暇所得数（平均）

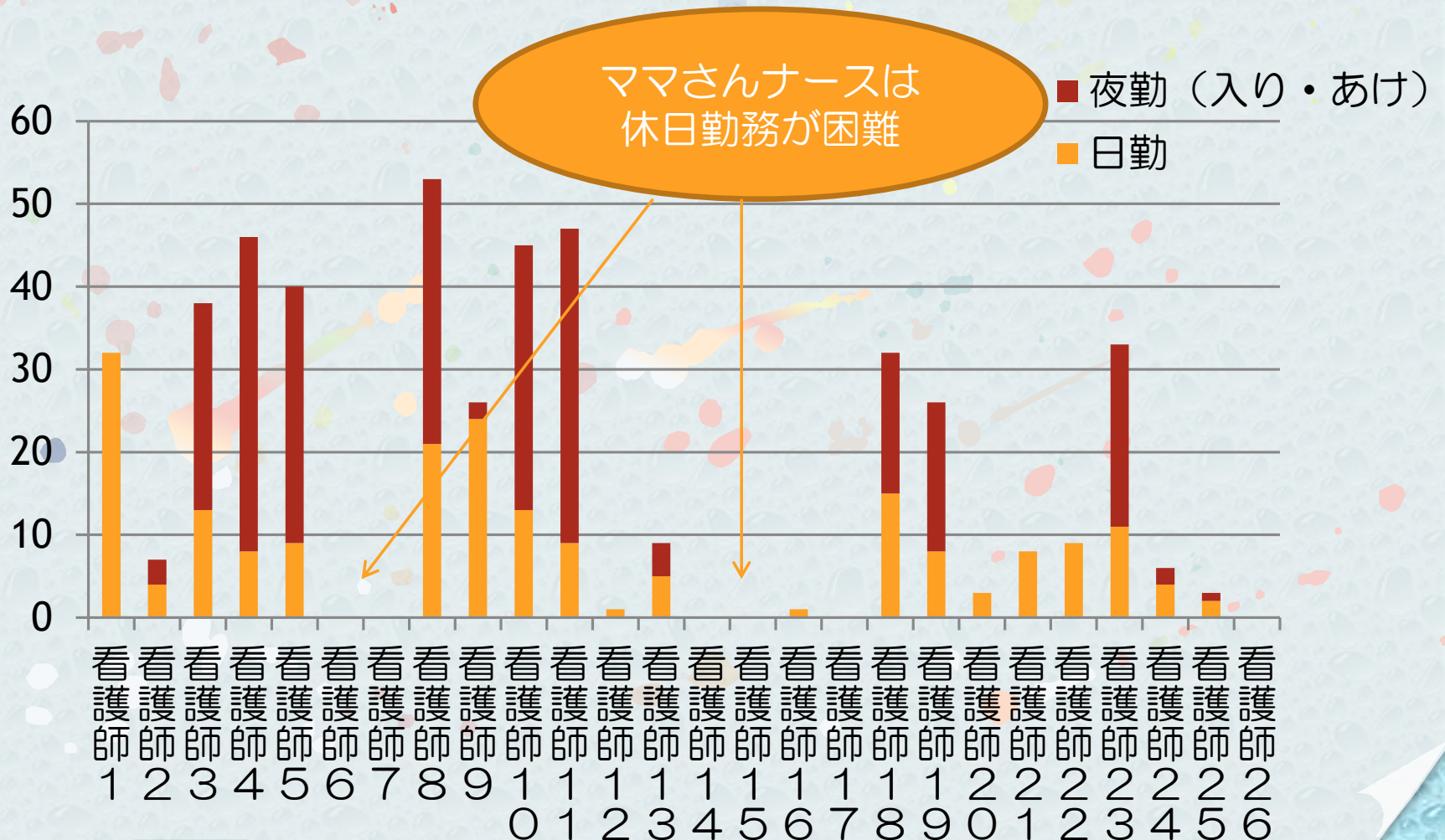


人は増えた・時間外が減った・年休も増えた
さあ！！次の課題へ

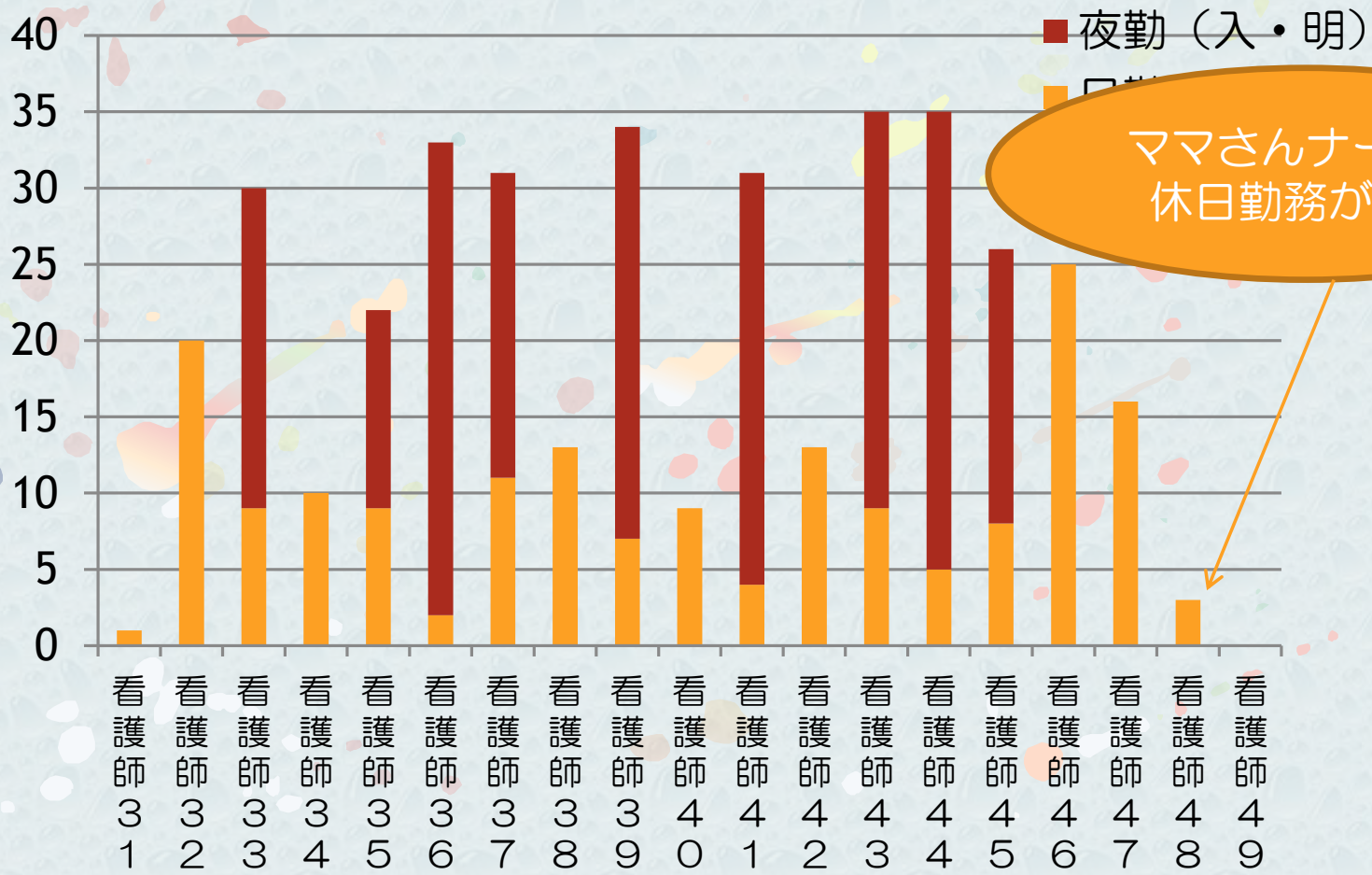
- 常勤看護職員への負担軽減・処遇改善
- 休日の勤務の偏り
- 連休が取りにくい
- WLBはみんなのもの
- モチベーションの向上
- 看護のやりがい
- 教育の充実
- 質の向上
- キャリア開発
- 定着への取り組み

休日の勤務状況（一般病棟）

日曜・祝祭日数68日/年

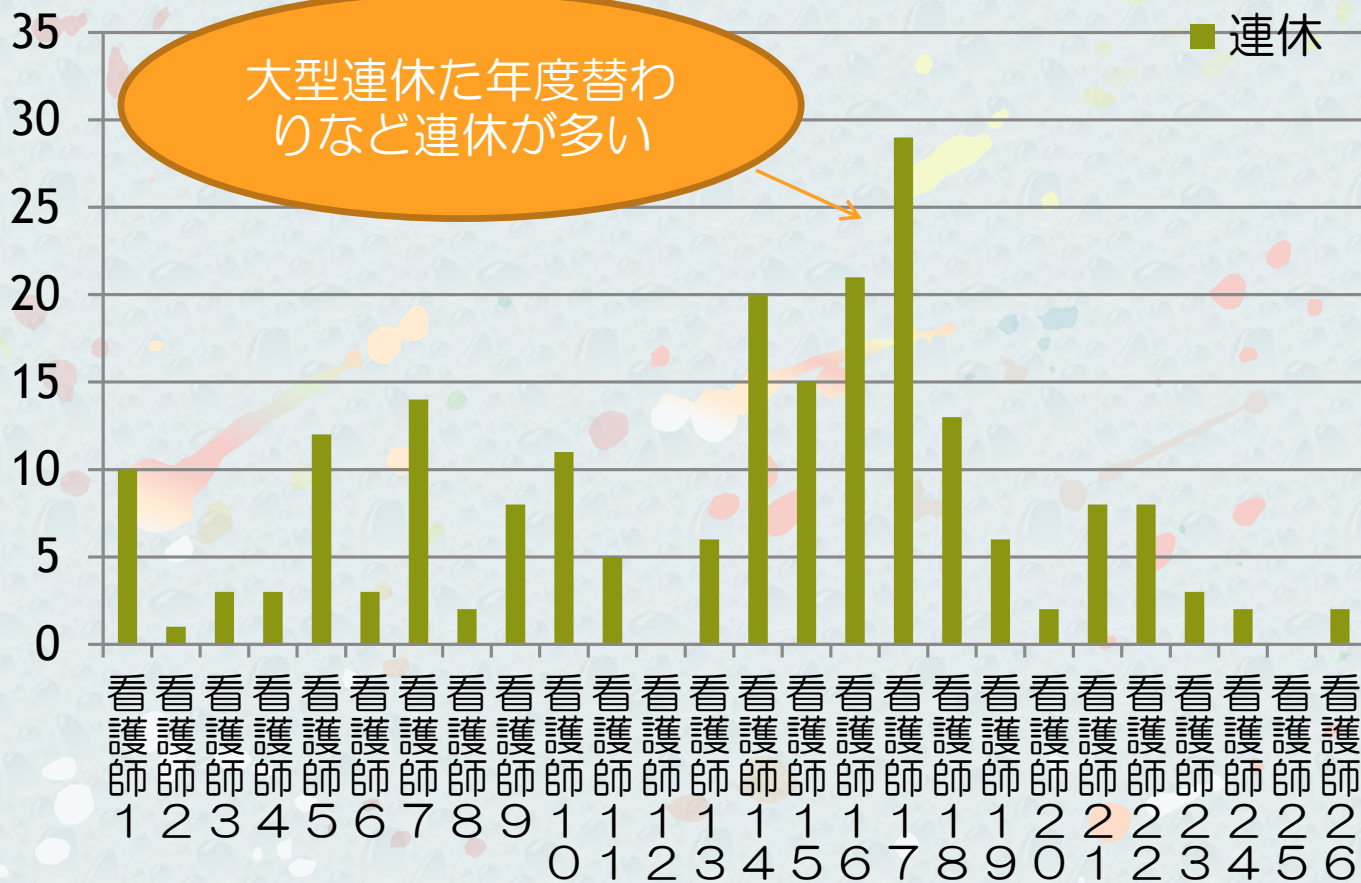


日曜の勤務状況（療養）

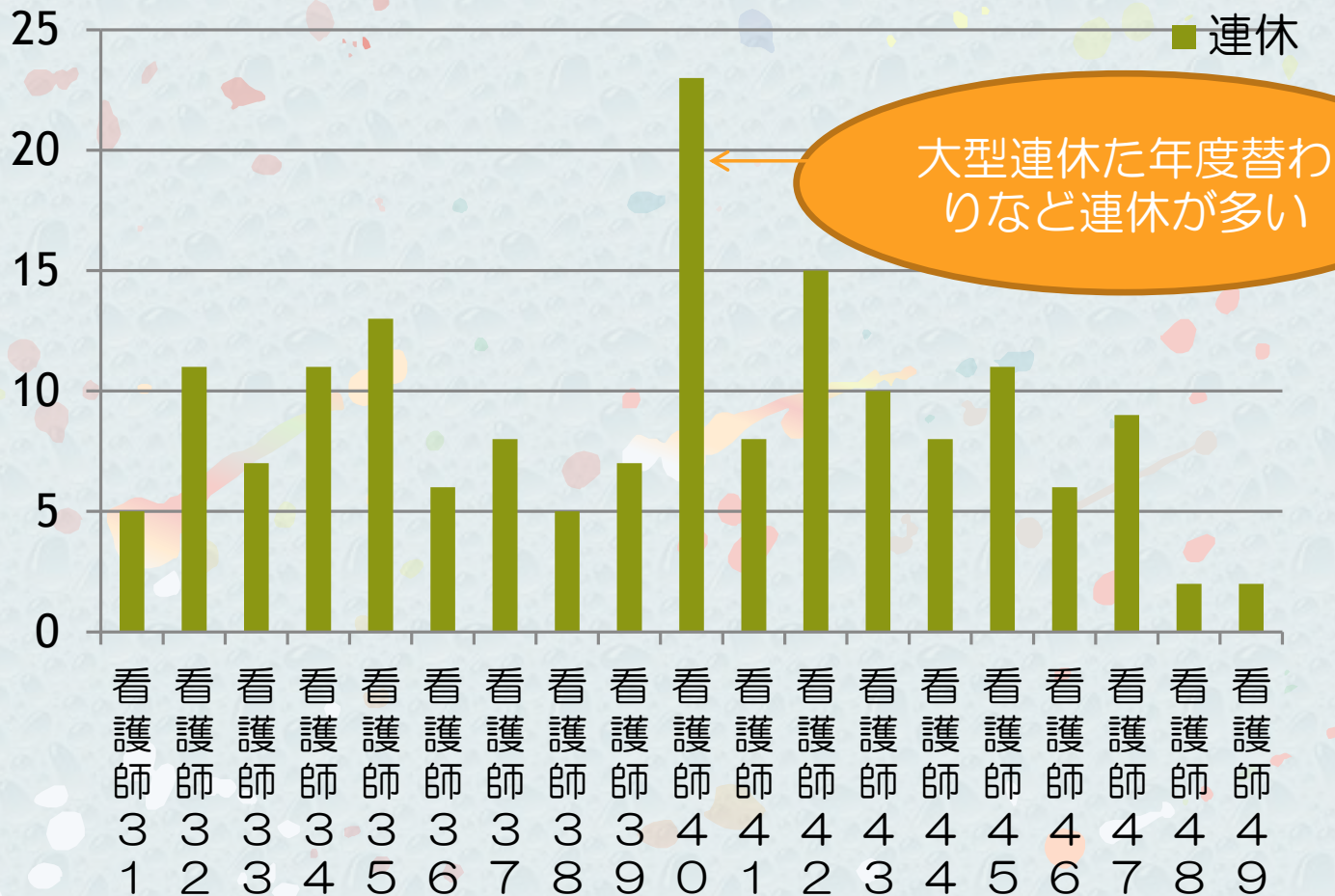


ママさんナースは
休日勤務が困難

週末の連休取得数（一般）



週末の連休取得（療養）



常勤看護師の声

週末の連休がほしいが取りにくい
土日に連続の夜勤が入ると友達と遊べない
家族の行事なども夜勤明けだと体力的にきつい

常勤看護師への処遇も
考えなくては

夜勤回数・休日勤務回数により
賞与での評価を行う制度の設立

(26年12月より)



週末1~2日ぐらいなら
夜勤に入れます

日曜日出られる日があれば
希望に書きますから



少しずつではあるが、ママさんナースが
休日の勤務を行うようになった

看護のやりがい・質の向上

勤務時間内で研修会を行う工夫

- 同じ内容の研修会を複数回開催
- 1回の研修時間を1時間以内に収める
- 病棟の一角を使用して行う

学習する風土

- 院外研修参加を推進
- 各部署での報告タイム

これから、もっと発展させ活性化させたい

今後の課題

- 全員がWLBを感じられる職場づくり
- 夕方の勤務負担の調整
勤務形態の見直し
補助者の協力体制・処遇改善
- 安定した人員の確保
- 委員会、研修会の活性化
看護の質の向上
モチベーション向上・自己実現



ご清聴ありがとうございました